

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2006年12月25日

73号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

ゆくとし 来るとし

いろいろな活動を振り返ると

今年も師走を迎え花屋さんや街のショーウィンドウに赤い花々がにぎやかに飾られる季節となりました。

今年は障害者に対する国の制度が変わったことに振り回されたり、支援するグループホームが5年の節目を迎えたり悲喜こもごも、とりあえず無事に暮れていきそうです。

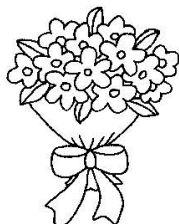


誕生 -NPOへ

丁度今年の今頃でしょうか、県庁に何度目かの足を運んでNPOへの申請の手続きの指導を受けはじめました。活動の形は変わらないものの 特定非営利活動促進法に照らし定款などを整備するのは なかなか面倒で 「こんなことする必要があるのか」などと思いつつ 「いや やっぱり皆で一生懸命考えたことだから」とゆるぎなく... 設立総会では、長時間いねいに討議もしました。さらにまた書類の整備をし、2ヶ月間、趣旨書、定款、事業計画、予算などを県民へ縦覧に付し、5月31日認証が降りました。そして登記。NPO法人地域で生きる障害者を支える会の誕生です。

初仕事 一写真展の開催

6月12日から17日まで写真展「重度障害者の生活」とたわわ増刊号の発行。共同募金配分金の助成を受けて、おなじみ大倉山のギャラリーかれんで行いました。4回目の啓発事業です。来年はどんなテーマの取り組みにいたしましうか...



たくさんの市民の皆さんに、障害者の生活を知っていただきたいと思います。そして、身近に暮している方々にこそ、応援の気持ちを広げていただきたいと思います。

交流と資金作り —新吉田でのイベントにぎやかに

よつばホーム庭での新吉田町の皆さんとの交流をかねたバザー。今年は3月の予定が少しずれて4月1日に行いました。お客様も年々少しずつ増え、お子様の参加が見られたのがうれしかったです。来年は、またひと工夫しましょう。

5月と10月には、活動ホームのバザーや秋祭りに参加。資金作りに頑張りました。手作り品ではペーパードールが人気上昇中。製作が追いつかないほど。



学習会 —新しい制度はどうなっちゃったの!?

自立支援法が出来て福祉の仕組みが変わりました。「良いところもある」とは言うものの、すっかり時代を逆戻りの感も。重い人ほど生きることにかかる費用が高くなるなんて... これまで積み上げてきた、福祉の理念はどこへ行ったのでしょうか。

10月29日、横浜ラポールで石渡和実先生をお招きして、研修会をしました。時の流れと、国の施策にはちゃんとアンテナを張って。“私たちは、こう思う”と言えるようになりたい。私たちの活動が自己満足やマンネリ化になることの無いように。

惜別 —感謝を込めて

三俣鮎子さんが突然に御逝去。12月15日告別式がありました。本当に残念で何よりも、大きな存在を失ったという気持ちでいっぱいです。

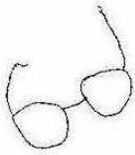
私たちが活動ホーム「しもだ」を作り、まだなにも手がかりが無く、地域への取り組みに一生懸命だったころ、生活クラブの方や、市民の会の方たちをさそって、バザーの散らしまき、ポスター張り、ボランティア交流会、と共に歩きながらのご指導をいただき、クリスマス会にはたくさんの手作りのケーキをつくって励ましてくださいました。

支える会のことでもいろいろ相談に乗ってくださいました。

港北ふれあい委員会にも、かかわって協力してこられました。何よりも、大きいことは、精神障害者の支援に力を尽くし、港北に関連作業所やグループホームをいくつも立ち上げ運営に当たられたことだと思います。

いつも柔らかな笑顔とは不似合いなほど、バイタリティーのあふれる活動をしてきた方です。「障害者が作る物だから... というのではなく、製品としてすばらしい物を作っていく。」という発想は、とても大切なことだと、いつも共感して来ました。

御冥福をいのります。



めがねの声

この前 網島小学校へ行きました。

人権の時間で 小学生の皆に お話をしました。

1年生から 6年生まで 700人ぐらいの生徒が 体育館に集っていました。港北区の社会福祉協議会から 母が頼まれたのですが 障害者の私も一緒に行きました。私も トーキングエイドという 機械を使って 生活の様子のことなどを 少し話しました。

* * *

それから 写真を使って 「しもだ」の友だちや 港北区の他の作業所の人たちの様子や 活動なども 説明しました。

その後 生徒の皆さんが質問をしてくださって 私はおどろきました。

「散髪するとき 座れない人はどうするのですか?」とか 「電動車椅子で 電車に乗って降りた駅では エスカレーターなどに どうやって乗るのですか?」や「車イスサッカーの他に どんなスポーツがやれますか?」など たくさんの手が上がりました。

私は 今の子供たちは良くわかっているな と思いました。

担当の先生もびっくりするほどでした。先生は「時間が無いので教室に帰ってから また 皆で話し合しましょう。」とあって 終わりにになりました。

帰るときは 皆手をふったり 握手をする子もいたりしました。 しばらくして車に乗るときも 教室の窓から手をふって送ってくれました。

* * *

12月は 人権週間だといっていました。一回だけのお話の会では 難しいので と きどき 勉強をしてほしいと思います。

この前あった 生徒さんたちが 大きくなったところが 楽しみです。

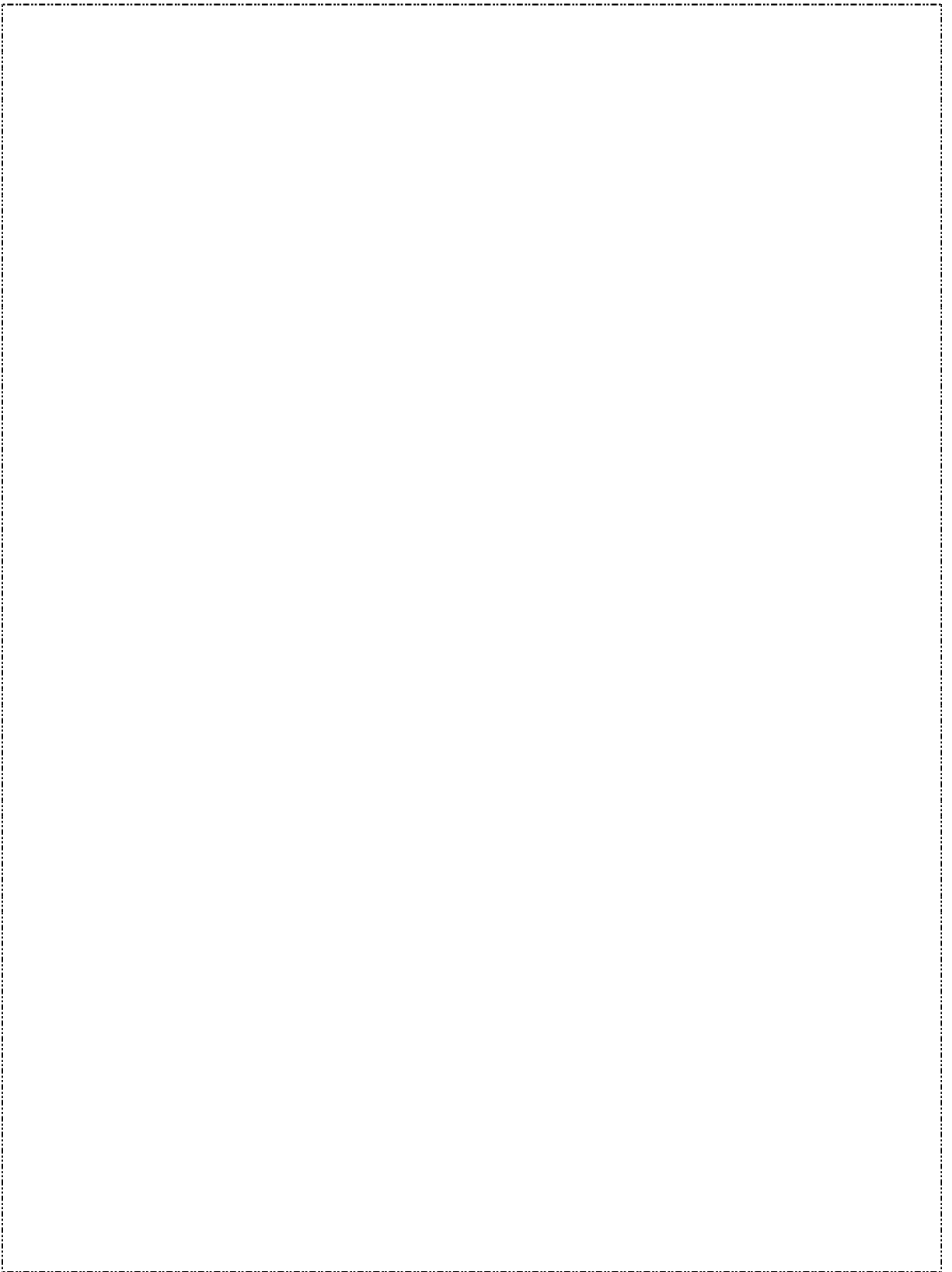
このごろ 思うのですが 私もできることで いろいろお手伝いしたいと思います。

大原 友子

編集註

これは、網島小学校からの要請に応じて、港北区社会福祉協議会セーフティーネット推進委員会から運動の一環として講師を派遣したものです。当日は、横浜セーフティーネットプロジェクトが商店向けに作成した知的障害者への理解を助ける『コミュニケーションボード』を配布しました。

セーフティーネットは障害の有無に関わらず、支援を必要とする方たちが地域の中で安心して暮せるように、広く市民のみなさんに理解を働きかけていく運動です。



今月のよつばホーム

よつばホーム

今年もあとわずかになりました。2006年は、冬季トリノオリンピック、第1回WB C開催日本優勝、耐震強度偽装問題、安倍内閣発足など様々な出来事がありましたが、よつばホームも5周年を迎えたことを筆頭に色々な出来事がありました。今年一年を振り返りながら主だった出来事を紹介します。

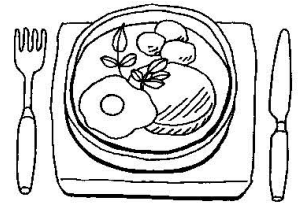
まずは2006年前半ですが、勢津子さん・次郎さんの誕生日会、個別には映画やショッピングやコンサートに行きました。3月にはよつばホーム全員でカラオケボックスへ行って大いに楽しみました♪ 5月には第2よつばメンバーと一緒に外食もしました。

2006年後半は、花岡さん・藤田さんの誕生日会があり、個別にはショッピング、博物館、コンサート、プール等がありました。地域の運動会にも参加し、見事野菜を獲得！ 11月にはよつばホーム5周年ホームパーティがありました。

風邪をひいたりもしましたが、一年を通じてみんな元気に過ごしてくれたと思います。来年も健康で良い年でありますように・・・。

第2よつばホーム

寒さが身にしみるようになってきました。今年ももう終わりですね・・・。



先月から第2よつばでも夕飯のリクエストメニューを開始しました。料理の本を入居者と職員が一緒に見ながら、「何食べたい??」と相談します。第1回めは富岡さんでした。メニューは豆腐ハンバーグとサラダ、スープです。当日はとってもいい表情で料理を見つめていました。

次の大原さんは、ロールキャベツとパンプキンサラダときのごスープです。作ってくれた女性ヘルパーさんと楽しそうにお話しながらおいしそうに食べていました。

その次の阿部さんはドライカレーとごぼうサラダと野菜スープです。なかなか料理本を見て決めてくれない阿部さんに職員が「何にするの?」と聞くとニコニコ顔。当日はよりいい笑顔でパクパクと食べていました。

最後に山田さんは、肉じゃがと茶碗蒸しと若竹汁です。一緒に相談していた職員と何がいいかな?組み合わせとして他に何の料理があるかなと相談していました。茶碗蒸しなど食べやすかったこともあり、アツという間に食べ終わっていました。

今度は職員や他のスタッフのリクエストメニューもしてみる?なんて話しながら、今日もみんなでおいしく夕食を囲んでいます。